

## 今年度の取組目標及び成果と課題

### 1 「学習指導」

(1) スマート・スクール端末の活用と観点別評価の研究 (2) 大学入試改革への対応としての英検指導 (3) 新学習指導要領の研究と校内研修の実施 (4) 土曜授業と習熟度別学習の実施

(成果)

DX推進校として、PTを立ち上げ、スマート・スクール端末の活用と観点別評価の研修・研究をおこない、2学期から1年全員にデジタル教科書を活用した授業を行った。

(課題)

新1、2年生が所有する端末の授業における活用拡大と探究の授業の研究を推進する。

### 2 「進路指導」

(1) 補習・補講の実施 (2) 組織的、系統的な進路指導  
(3) 大学入試改革への対応 (4) 高い目標への挑戦意欲の育成  
(5) 保護者との情報の共有 (6) 体験的学習と進路講話

(成果)

○大学等進学実績の目標と成果 (目標数⇒今年度実績)

① (GMARCH) 現役合格者数 16名 ⇒38名 ② (成成明武) 現役合格者数 5名 ⇒9名

⑤ (日東駒専) 現役合格者数 50名 ⇒59名 ④ 都立看護専門学校現役合格者数 5名 ⇒3名

※進路決定率 90%⇒96%

⑥ 就職者数(うち公務員) 10名(8)⇒8名(6) ⑦ 難関私学現役(早慶上理 2名⇒5名)

○授業外学習支援の目標と成果

① 実用英語技能検定準2級以上合格者数 85名⇒88名

② 長期休業中の補習・補講時間 延べ181時間⇒334.5時間

(課題)

基礎学力の確実な習得を図り、強気出願を醸成し、第1希望進路先の実現を目指す。

### 3 「生活指導」

(1) ルールやマナー及び情報モラルを遵守する指導 (2) 身だしなみの指導  
(3) 遅刻防止及び盗難防止指導 (4) いじめや自殺防止の対応

(成果)

○学校生活満足度の目標と成果 (目標数⇒今年度実績)

① 生徒の満足度

「学習指導」64%⇒68% 「入学して良かった(総合)」77%⇒84%

② 保護者の満足度

「学習指導」67%⇒70% 「入学させて良かった(総合)」91%⇒93%

(課題)

生徒指導に関わるルールやマナー及び情報モラルの遵守、身だしなみ、遅刻防止及び盗難防止、いじめや自殺防止に関する指導を生徒・保護者等の意見を参考に引き続き改善していく。

#### 4 「特別活動・部活動」

(1) 特別活動の充実 (2) 部活動の充実 (3) 近隣関係学校との交流

(成果) ○近隣小・中・特別支援学校との交流及び部活動の目標と成果(目標数➡今年度実績)

① 近隣小・中・特別支援学校との交流 2回(新型コロナウイルス蔓延のため)

② 部活動加入率 88%➡88.2%

③ 都大会、コンクールでベスト8相当又は関東大会出場以上5部➡6部(文芸部・全国大会、美術部・6年連続全国大会、ソフトボール部・関東大会、陸上・ダンス部等の全国大会等)

(課題)

部活動加入率・定着率を更に高めるために、生徒の部活動満足度を高める指導の工夫を行う。

#### 5 「体力向上と健康づくり」

(1) 体力テストを活用した体力向上 (2) 健康・安全に留意した実践的な態度の育成

(3) 校内美化の徹底

(成果)

保健部を中心に新型コロナウイルス感染症対策を行い、生徒が学校生活を安心して過ごせる環境を整えた。とくに、登校時のサーモグラフィーの活用や手洗い・手指消毒、マスクの着用について生徒自身が適切な判断ができるように呼び掛けた。そうすることで体育授業や学校行事・部活動などを継続的に実施でき、生徒の健康増進や体力の向上につながった。

(課題)

感染対策などについては各生徒それぞれの価値観や判断が存在するため、生徒自身が自分の健康について考えるとともに他者への理解の幅を広げることが大切である。担任や部活動顧問、生活指導部・進路指導部など全教員での共通理解と連携が必要である。

生徒の心身の不安や悩み相談について保健室、SC、各担任との情報共有、連携を更に深める。

#### 6 「広報・募集活動」

(1) 学校ホームページと日野高ニュース (2) 本校への志願者を増やす取組

(成果) ○広報・募集活動の目標と成果(昨年度実績➡今年度実績)

① 入選中進対倍率 1.05倍➡1.08倍 ② 入選推薦募集倍率 2.48倍➡2.59倍

③ 入選一次募集倍率 1.29倍➡1.35倍 ④ 学習塾等の訪問 320教室➡397教室

(課題)

入選中進対倍率の目標を当初1.20倍としたが、クラス増による影響がありながらも、昨年を上回り、数字的には今年度、1.08倍にとどまった。次年度については、刷新したホームページを活用し発信をより一層増やし、本校の魅力を多くの中学生やその保護者、地域の方々に理解してもらうような工夫をする。

#### 7 「地域連携」

(1) 地域と連携した研究活動や近隣清掃 (2) 地域行事や関係学校行事への参加

(成果・課題)

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は一部、実施を控えた取組もあった。

表敬訪問等により日野市、近隣自治会、清掃組合等との今後の連携を強化できた。

#### 8 「学校経営・組織体制」

(1) 服務事故の防止 (2) 業務縮減及び働き方改革に向けた取組

(3) 特別支援教育の推進 (4) 経営企画室、その他

(成果)

研修・届出の徹底や定期券などの確認を行い、服務事故ゼロを継続できた。

(課題)

在校時間が多くなりがちな教員の健康障害の防止と産育休の体制確保が課題である。